

科目名・単位数	経営戦略論 2単位	科目分類	経済・経営系	発展科目
配当年次	2年次・春学期・昼・夜	担当教員	むらた だいがく 村田 大学	
履修形態	選択			
授業概要	<p>熾烈な競争下に置かれている今日の企業にとって、優れた経営戦略の策定と遂行は、その存続を左右するほどの極めて重要な課題となっている。この授業では、経営戦略論の知識の体系的な修得を目指すとともに、優れた経営戦略の在り方について考えていく。講義の内容は学生の関心や理解度など必要に応じて変更することがある。また、状況に応じてLTDなども実施することがある。</p> <p><u>特に2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、授業方法や成績評価の方法等も含めた授業全体を対象に、必要に応じて大幅な変更を行うことがあります。授業内外での教員・大学からの連絡にご注意ください。</u></p>			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学生が経営戦略論の基礎的な知識を体系的に理解できるようになる。</li> <li>2. 学生が経営戦略論の基本的かつ本格的な概念や理論を理解し、説明できるようになる。</li> </ol>			
授業方法	<p>講義形式で授業を進めていく。経営戦略論の基本的分析枠組みの理解を中心に行うが、新しい経営現象についても話題や事例研究として取り上げる。状況に応じてLTDやオンライン授業なども実施することがある。</p>			
事前・事後学習	<p>事前学習は、テキストを精読し、各授業の前に経営学辞典等で専門用語を調べておく(120分)。事後学習は、講義の内容をノートにまとめておく(120分)。手書きのノートは授業内テストの際に持ち込み可となる。</p>			
成績評価の方法	<p>授業内テスト60%、レポート30%、授業への貢献度10%</p> <p><u>ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、授業内テストをレポート課題で代替するなど、必要に応じて大幅に変更することがあります。ご注意ください。</u></p>			
フィードバックの方法	<p>レポートは気づいた点、問題点など口述する。</p>			
履修上の注意	<p>受講者には毎回出席するよう要望する。復習に時間をかけ、とくに図書館で資料を集めるなどしながら、ノート作りに力を入れること。</p>			
授 業 計 画				
第1回	<p>ガイダンス 授業の進め方、到達目標、成績評価基準などについて説明する。 授業の基礎となる導入部分について、企業の事例を取り上げながら解説する。</p>			
第2回	<p>経営戦略とは何か(1): 経営戦略の概念 戦術との違い、経営理念、ビジョン、事業ドメイン 経営戦略論を学んでいく上で必要な基礎知識を説明する。</p>			
第3回	<p>経営戦略とは何か(2): 経営戦略の種類 企業(全社)戦略、事業戦略、機能別(職能別)戦略 経営戦略論を学んでいく上で必要な基礎知識を説明する。</p>			

第 4 回	経営戦略の策定プロセス SWOT 分析、事業ドメイン（領域）の選定、企業アイデンティティ 経営戦略の策定プロセスについて説明する。
第 5 回	全社戦略（1）：成長のための経営戦略 アンゾフの成長ベクトル、多角化戦略、シナジー 全社戦略の代表的理論の1つであるアンゾフの理論を解説する。
第 6 回	全社戦略（2）：適切な資源配分のための経営戦略 プロダクト・ライフ・サイクル、プロダクト・ポートフォリオ・マネジメント（PPM） 全社戦略の代表的理論の1つである PPM について解説する。
第 7 回	企業の M&A 戦略 M&A の目的と手法、選択と集中、合併、経営統合 企業の M&A 戦略について説明する。
第 8 回	企業の提携戦略 提携、提携の形態、戦略的提携 企業の提携戦略について説明する。
第 9 回	イノベーションと経営戦略 クリステンセンのイノベーションモデル、アバナシーの生産性のジレンマ イノベーションと経営戦略の関係について説明する。
第 10 回	CSR と経営戦略 CSR、ステークホルダー、サプライ・チェーン・マネジメント CSR と企業の経営戦略の関係について説明する。
第 11 回	事業戦略（1）：顧客ニーズへの適合性 顧客ニーズ、顧客満足、マスカスタム化 事業戦略の有効性を左右する、顧客ニーズへの適合性について説明する。
第 12 回	事業戦略（2）：ポジショニング・アプローチ ポーターの競争戦略論、ファイブフォース分析 事業戦略の有効性を左右する、事業戦略の競争状況との適合性について説明する。
第 13 回	事業戦略（3）：リソース・ベースド・ビュー バーニーの VRIO フレームワーク 事業戦略の有効性を左右する、事業戦略の自社の経営資源との適合性について説明する。
第 14 回	事業戦略（4）：組織能力の適合 コア・コンピタンス、製品アーキテクチャ、ケイパビリティ 事業戦略の有効性を左右する、事業戦略の自社の組織能力との適合性について説明する。
第 15 回	授業内テストおよび総括
テ キ ス ト	佐久間信夫・芦澤成光編著『現代経営戦略要論（経営学要論シリーズ 4）』創成社、2011年。
参 考 図 書	佐久間信夫・犬塚正智編著『現代経営戦略論の基礎（現代経営基礎シリーズ 4）』学文社、2006年。佐久間信夫・中村公一・文堂弘之編著『M&Aの理論と実際』文眞堂、2017年。